

山本久子さん16年間お疲れ様でした。

長い間ありがとうございました。 山本久子

16年間本当にお世話になりました。 思えばN T Tを退職して初めての立候補をしたのが50歳の時でした。右も左も分からなかった私を、励まし支えてくださったのは町民の皆様でした。特に「久子通信」読者の皆様からは、大きなエールを送っていただき、元気に活動することが出来ました。心から感謝申し上げます。

無事バトンタッチが出来ホッとしていますが、今回の選挙結果から、もっと自力をつけなくてはと痛感しました。国政選挙と違って、町議選では「地縁、血縁」が大きな力を発揮します。地域推薦型の選挙は少なくなつたとは言え、「地元の人を出したい」というのは人情として当然です。町民と深く触れ合い、悩みを共有し、結びつきを強めていくことを日常的に行う中で、支持をしていただけるのだと改めて感じました。

議員は辞めましたが、引き続き頑張つていくつもりです。 共産党2議員への皆様方のご支援、ご協力をお願いして退任のあいさついたします。

薄井さん、服部さん当選おめでとう！

お二人から新たなスタートに立つての決意を寄せていただきました。

住民の要望に真摯に取り組めます。



服部久子

皆様にご支援いただきまして誠に有難うございました。最下位当選でしたが、今まで取り組んで実現できなかった事や、これから実現すべき事をしっかりと見据えて活動していく決意です。

選挙の前に東日本大震災があり、日本人の生活のあり方を見つめ直す動きが出てきました。今までは効率ばかりを追い求め、自己責任を押し付けられ、経済的格差が広がっていました。この矛盾に町政がどう応えられるかが問われた選挙でした。

医療、教育、子育て、老後の不安、農家や事業者の経営の不安など、直接住民の生活に責任を負う町は何をしてくれるのか、と突きつけられています。

しかし、町行政は、それに対して的確な回答や瞬時の対応が出せない事が多く、不審が高まっています。 私はこれからも住民の要望に真摯に取り組んでいく決意です。

「戦争をしない」という憲法九条を守り、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」をうたった25条の実現を目指して頑張ります。

そして、議会が真の住民の代表の場になるよう努力していきます。宜しくお願いします。

町政・議会改革に取り組めます。



薄井孝彦

この度の選挙では皆さまの温かいご支援により、町議会議員に押しあげていただき厚く御礼申し上げます。

山本久子前町議の議席を引き継ぐことができ、本当に良か

ったと思います。

昨年の8月以降、町民アンケート調査により皆さんの要求を知り、それを基に町政要求書を作成し、町と交渉しました。それらの結果を参考に町議選の4大政策を作り、訴えてきました。

東日本大震災を受けて「福祉と防災の町づくり」を鮮明にし、選挙本番に臨みました。政策は町民の一定の支持を得ることができたと思います。

また、選挙を通じて「町を、議会を変えて欲しい」と言う町民の思いと期待をひしひしと感じました。

山本前議員の姿勢を引き継ぎ、町議選の政策を基に、みなさまの声をお聞きし、それをどのように実現させるか検討し、勇気を出して提言していきます。

その結果を「たかひこ通信」で情報発信して参ります。今後とも、皆さまのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



議会構成決まる

5月6日に開催された初議会で議員の任務分担が決まりました。共産党議員の分担についてお知らせします。

服部久子議員

振興文教委員会委員長
議会運営委員会委員
北アルプス広域議会議員
池田松川施設組合議員
高瀬広域水道企業団議員
池田町都市計画審議会委員
農政問題協議会委員
池田町農業振興地域整備計画審議委員
池田町営農支援センター運営委員
池田町農業構造政策推進協議会委員
高瀬川左岸水利運営委員会委員
池田町商工業振興審議会委員
県道上生坂信濃松川停車場線整備期成同盟会理事
県道宇留賀池田線整備促進期成同盟会理事
池田町学校活性化委員会委員
池田松川学校給食センター運営委員会委員
池田町土地開発公社理事
(社)池田町社会福祉協議会評議員

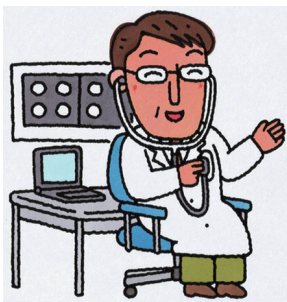
薄井孝彦議員

総務福祉委員会副委員長
議会報編集委員会副委員長
池田町総合福祉センター運営委員会委員
(社)池田町社会福祉協議会評議員

いようにするため)。
2、できれば、傷口に直接口を当て毒素を吸い出す(口は後ですすげば大丈夫)。
3、傷口から5～6センチ上をタオルなどでしぼる。(強すぎないこと) 4、できるだけ早く医療機関に受診する(消毒と治療薬の注射をうける)。

移動が困難な状況の時は救急車を呼ぶ。

*自己流の手当で放置することは危険です。必ず受診しましょう。



ももこの

健康教室

マムシに噛まれたら

初夏は山菜取りや散策で山に入る機会が多くなります。

熊の出現も注意が必要です が、足元のマムシにも気を付けなければなりません。日本では毎年数千人が噛まれているそうです(死亡は10～20人)。

万が一噛まれたときは

1、あまり動かないこと(毒素が全身に回らな